



福祉と住環境を考える

ふくてっく

2012年6月
第82号

特定非営利活動法人

ふくてっく

559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC・ITM 棟 11F エイブル L
TEL 06-6614-6800
mail@fukutech.sakura.ne.jp http://fukutech.sakura.ne.jp/

ふくてっくの

「福祉サービ

第三者評価」活動

第三者評価活動の意義

福祉事業が、措置からサービ
スへと大きく様変わりし
たことは既に周知の通りだ。
高齢者や障がい者などを「社
会的弱者」と位置づけ、その
「保護」を為政者が一方的に
「措置」する発想を脱して、
利用者の主体的な意思を尊
重することから始める。
福祉事業者は、お上から対象
者とその扱いを指定され、費
用を給付されるのではなく、
利用者を選ばれ、その支援方
法についても利用者の意向
を汲み取りながら個別に計
画され、最大限の満足度を得
るべく、サービ

て、供給が限られていること
にある。常に、売り手市場な
のだ。買い手である利用者は
自由に商品を選ぶことが出
来ない。第二に、情報が一方
通行になっている。売り手で
ある事業者は、市場情報を容
易く把握できるが、買い手の
市民には事業者の情報はな
かなか見えない。
次に重要なことは、買い手
の満足度を測る価値観の形成
に、売り手の論理が横行し、
そのことに当事者が気づか
ない閉鎖社会の宿命がある
ことだ。利用者の求めること
を真に代弁する存在がな
い。利用者の多くはその意思
を正しく、また能弁に語るこ
とが不得手であったり、ある
いは時として、自身や家族に
とって本当に、そうすべき目
標に反する願望を持ちかね
ない。また、あまりにも自分
本位になって、他の利用者
を含めた、福祉事業全体にと
って好ましくない言動をす
ることさえある。

を、もちろんサービ

評価機関

ふくてっくの七年

平成十七年に国は、第三
評価を制度化し、都道府県
ごとに推進機関を設置するこ
ととした。大阪府では、その
以前から独自の取組をして
きたが、国の動きに応じて、
同年に要綱を定めて評価事
業を発足した。ふくてっくも
早速六名のメンバーが評価
調査者養成研修を履修して、
評価機関認証を受けた。その
後、評価調査者となったメン
バーは累計で十四名、現在九
名が所属している。
認証後の六年をふり返る
と、初期には精力的に会議を
重ね、会独自の評価基準を綿
密に練り上げる事もした。

しかしながら、当会に限つ
たことではないが、大阪府
の第三者評価は、一向に振
興する様子が見えず、評価
機関の数も、累計では四十
六を数えるが、残留する機
関は十六になってしまった。
その中でも、一部の機関を
除いては、活動らしい活動
の機会さえ得にくい状況が
続いてきたのだ。ふくてっ
くも六年の間は、同一の特
別養護老人ホームについて
二回、それに番外で「お試
し評価」を二件取り組めた
に過ぎない。

ふくちゃん

* 要支援サービス施設記事 *



シェーキングボード
● バランス感覚アップ



エルゴサイクル
● 足の筋力アップ



ノーステップ
● 手足の筋力を向上



フロントステップボール
● バランス感覚アップ
とシェイプアップ



飛鳥駅周辺

一時は、事業の継続を断念して、平成二十三年の認証更新を辞退しようとしたこともあった。そんな中でも、思い直して認証更新をしたのは、実は別の思いがあったのだ。数年前から、中北は評価機関連絡会代表幹事を務めており、当会というより大阪における第三者評価の振興に期する思いを強めていた。ふくてっくが評価機関を閉じてしまうと、その活動も辞さねばならない。事実二十二年度末の連絡会でも、次年度以降は活動ができなくなる旨を発言したところ、思いの外に遺留され、翻意せざるを得なかった、というところが本当の所だ。しかし、これが転機だった。おりしも二十三年度は、それまでヒューマインド、そしてフ

アイン財団と受け継がれてきた推進機構事務局が役割を返上して、大阪府の直轄となり、連絡会は事務局の所属を解かれて独自運営を余儀なくされたのだ。逆風はさらに強まった。そうと決まれば、やるだけやろうと、一念発起。これが全てに前進を生んだようだ。むしろ連絡会の声を強く発信することができ、これに依って大阪府推進機構もようやく動きが見えてきた。そんな中、評価機関ふくてっくにも大きな転機が訪れたのだ。

奈良県手をつなぐ

育成会に取り組み

二十三年十二月に、障がい者の虐待をテーマにした学習会講師にお呼びした佐藤宣三郎さんから、第三者評価

を受けよう、という有り難い申し出があった。奈良県の事業所であるから、インフォーマルな取組になる。でも、だからこそ自由な取組も可能である。とは言え、障がい者福祉の評価は容易くない。しかし、一時は閉鎖も考えた評価機関を一から立て直す絶好の機会だ。評価調査者資格の有無に拘わらず、メンバーを募集したところ関与の軽重はともかくとして十名を超えるメンバーが集った。初めて第三者評価に取り組み数名を含め、本格的に障がい者福祉を評価することは、会としても初めての経験だ。評価基準の一から徹底的に見直す必要があった。このため、訪問調査に至る前に三ヶ月の期間において、その間に大きな会議だけでも七回の協議会を重ねたのだ。事業所職員と利用者家族等からも事前に詳細なアンケート回答を集め、その分析を進めるほどに、いよいよ容易ならざる福祉現場の課題が見えてくる。

今後のビジョン

四月九日、いよいよ訪問調査の第一日目。九時八分に飛鳥駅に集合したメンバーは九名。施設到着後、ただちにヒアリングを開始。その後は



上/やすらぎの丘・たかとりワークス外観 下/交流スペース

予定した活動を次々とこなすし、一泊二日に亘るハードな調査は無事終了した。初日の夜は、理事長も駆けつけられ、施設長と共に懇談。予定外(?)の宴に発展したが、後半には若い職員も合流して、文字通り腹を割った議論を交わすことができたことは有り難かった。翌日朝は、さすがに少々こたえたが・・・

しても遜色ない力を発揮できるといふ自信も生まれた。また、高取の事業所では障がい福祉現場が抱える課題をつぶさに見聞することができたように思う。それはまさに福祉事業の世界に普遍的な課題であると言える。「人権擁護」「利用者本位」といった、基本課題もさることながら、こうした事業所における「リーダーシップ」のありかたや、職員の果たすべき役割、そしてその組織化や継承課題、高い理想を目指す志と健全な財務体質の両立・・・等々、第三者評価は、あくまで第三者として、これ

に溺れず、しかしながら、深みを避けず、第三者評価の果たすべき役割を追求して行きたい。そこに何かが見えてくるはず。それが何か？各自の本務にも大きな影響があるだろう。生き様や人生訓にも、なにより「ひと」を見つめ直す真剣な場になる。得るところは、メンバーそれぞれに違うかも知れない。それはそれでよいと思いたい。

中北 清記



参加者の思い

日常的に施設に出入りしてま
すが、今回の施設は全然雰囲気も
違い、改めて評価する難しさや責
任を感じました。評価者の力量が
問われるので、研鑽も欠かせない
と思いました。
大塚

一泊する事により、施設が自ら
掲げる高い理念に基づき日々努
力し運営されている事がよく解
った。障がい者施設が抱えている
問題点、難しさも少しは理解で
き、今後の私自身と障がい者の
方々との関わり方を再考する契
機となった。
大橋

仕事では、何回か訪問している
施設ですが、今回は第三者評価の
一員として初めて参加しました。
物づくりに携わってきた経験と
は違い、障がい者施設にかかわる
利用者さん、職員さん、パート職
員さんと、人が中心の施設運営の
現状を評価し「きづき」を促す第
三者評価の業務は、私には非日常
的な経験でした。施設運営の現
状、課題を一泊二日の短期間の訪
問調査でしたが、施設の抱える課
題が少しは理解できたように思
います。この貴重な経験を生か
し、自立支援のお役に立てるよう
関わっていきたいと思います。
後藤

今回の調査では、利用者の寮生
活が観察できた事が非常に良かつ
たと思う。特に、私の印象に残つ
たのは、利用者が明るく、のびの
びと生活しているということであ
った。この事は、この施設の運営
の在り方から来ているのだろう
か・・・。
杉浦

今回は定型に捉われず、現実と
向き合い踏み込んだ調査をおこな
い、達成感と心地よい疲労感と共
に、先入観を持たず傾聴と非審判
的な態度で調査に臨むことの大切
さを再認識しました。
清水

第三者評価とは何か？どのよ
うに評価すべきか？等、何もわか
らないまま参加させていただき
多少の不安もありましたが、とて
も充実した調査に参加させてい
ただき、障がい者施設への理事
長・施設長の情熱に感服致しまし
た。
曾我部

第三者評価をはじめて久しい
が、今まで適当だったわけではな
いが、今回ほど真正面から取り組
んだことはなかった。なにかさわ
やかな達成感を覚えている。石の
上にも3年、いや7年。ようやく
途が見えてきた。
中北

はじめて第三者評価に参加さ
せて頂きました。寮生活や外部活
動では利用者の出来ることに配
慮して接しておられたことが印
象的でした。職員の方には当たり
前のことなのかもしれませんが
大切なことをふり返ることが出
来たように思います。
春岡

私にとっても貴重な体験であ
った今回の第三者評価の活動が、
「たかとりワークス」や「やすら
ぎの丘」が、より素晴らしい地域
の資源となるきっかけにつなが
ることを願います。ありがとうございます。
山本



やすらぎの丘

右上 夕食

右下 朝食



やすらぎの丘
たかとり
ワークス
玄関前

①②③④⑤ 日中活動



③



④



⑤

研 修 部 会

パソコン教室

ふくてっく定例会のある第一土曜日の午前 10 時～12 時まで、大阪市立社会福祉センター 1 階ボランティア情報センター内のフリースペースで、当会の苅田会員が講師となり「パソコン教室」を行っています。

参加者は 84 歳の有馬会員をはじめ人生の熟練者の方が、それぞれ自分のパソコンを持ち寄り、自分にあったペースでぼちぼちがんばっています。

障がいがある無しに関わらず「来るもの拒まず、去るもの追わず」どなたでも 500 円払えば参加できます。

「パソコン買ったけど使い方がらん！」とお困りの方いらっしゃいませんか？

初心者の方も気軽にご参加下さい。資料の準備等ありますので、参加を希望される方は、会員は鎌田か苅田まで、会員以外の方は当会事務局までご連絡下さい。



木 工 部 会

パン家具造り

大正区でのパン家具造り体験

2011 年 11 月 7 日～12 月 1 日まで、当会中北会員の紹介で大正区の特定非営利活動法人わかば様のところで、知的障がい者の職業窓口の拡大を目指した「パン作り」のためのパンの陳列・展示台、そしてレジ台の製作に協力させていただきました。

設計図面を見ると結構大がかりな家具ばかりでしたが、なんとか約 20 日間で、木工部メンバーみんなでガンバリ、悲鳴をあげながら完成させることができました。仕上りにも大満足、また、障がい者の方々のお役にたてたということで私どもは大変納得し満足感を得られました。



福 祉 用 具 部 会

歩行補助具の模型

歩行補助具の開発を色々な角度から検討しています。簡単に歩行の補助が出来、静かで振動の少ない器具はまだまだ未開発です。そこで、色々な課題のもとに、幾つかの模型を制作しました。そこから見えてくるのは、安全性とシンプルさです。多機能さを押さえ、歩く事に特化したシンプルなデザインが少しずつ前進しています。

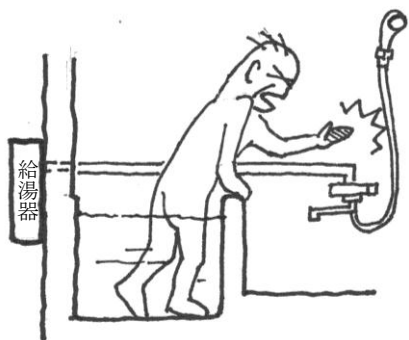
もの造りにおいても、プラスアルファ思考でなく、マイナス（そぎ落とし）思考から生まれる構造、デザインが求められるものと考えています。そこからは今までにない「もの造り」の原点が見え、より使いやすい器具の誕生が望めると確信しています。

今回は模型の写真を紹介しますが、実物のサンプルを制作し、皆様に見ていただけるように鋭意努力しております。



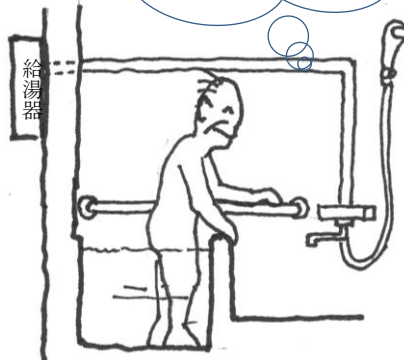
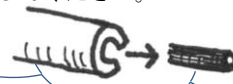
東大阪部会

住宅改修ワンポイントアドバイス



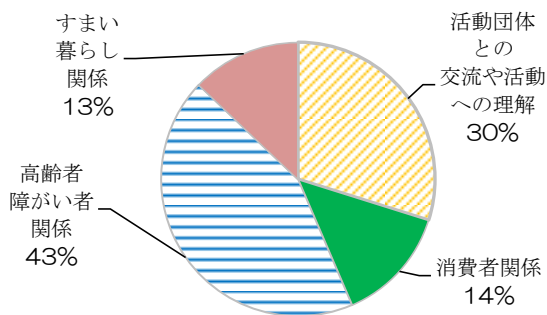
『給湯配管が 露出しており
手がふれる位置にあるので
思わず握ってしまったところ
熱かった!!』

浴室内に露出で配管する場合、
配管化粧カバーを利用することなども
ご検討してください。



- ・給湯管を浴室内に配管する場合、
身体や手などが触れる可能性がある壁・浴槽廻りなどは避けましょう。
- ・配管ルートは、
怪我や火傷などのトラブルがおこらない計画であるか確認しましょう。

H24年度「ふくてっく学習会」に向けたアンケート調査報告



理解を深めたいテーマの傾向

H24年4月、本会の定例会で実施している学習会について、正会員の要望を知るためのアンケート調査を実施した。(一部を抜粋し掲載)

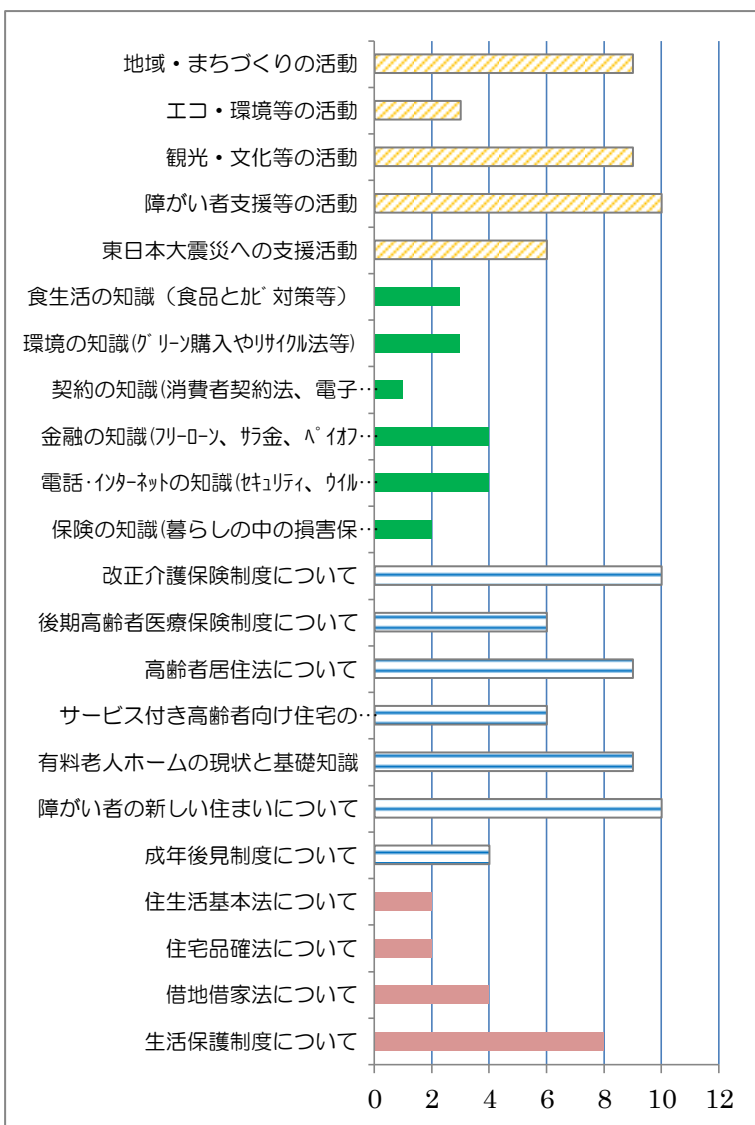
正会員39名の中、回答をいただいたのは21名。アンケートはHPからダウンロードし、各自定例会に持参し回収する方法でおこなった。

回答結果から、高齢者や障がい者がおかれている住環境や関わる施策等について理解を深めたいとの要望が多く、次に、他の団体の活動の理解が多かった。学習会は会員等のスキルアップを目的に実施しているが、「知識」だけでなく「人の繋がり」「他者への理解」を深めることもふくまれている。アンケートの結果、会員もその思いを共有していることを伺い知る事ができた。

企画担当 清水 麗子

★ 定例会への参加、歓迎します。

H24年度の学習会は会員の要望を軸に企画していきます。学習会はふくてっくホームページにて確認することができますので、興味のあるテーマがあれば定例会(原則第一土曜日13時半より)にお越しください。定例会は、会員以外の方も参加できます。



学習会テーマ

親睦会

三月十一日快晴の日曜日、春のレクリエーションは九名の参加で上六と現地二班に分かれ集合。箕面方面に車を三十分ほど走らせると景色は一変し、茅葺き屋根の残る民家のある田園風景を車窓より眺め、一路目的地の岡会員の別荘へ一泊二日の日程で向かいました。昼食は別荘近くの食堂でなぜかみな鍋焼きを注文、期待以上に美味でした。

夕食後の休憩もそこそこに女性の曾我部さん、山本さん、松田さんは夕食の準備、男性の樋口さん、稲住さん、杉浦さん、岡さん、後藤は庭の手入れ、枯れ木の剪定は西川さんが里山保全ボランティアで培った山守りの腕前で伐採。皆の協力で明るく風通しの良い庭に変貌、岡さんにも喜んでいただきました。

当日は昨年の東日本大震災から一年目の日であり、一同彼の地に向かい黙祷いたしました。天災はいつ我が身に降りかかるか他人事とは思えません。

夕食前に別荘から車で十分標高五百mに位置する、るり溪温泉へ。

京都府立自然公園内の国定指定名勝。るり溪という美しい名前の由来は通天湖から流れ出る園部川の清流が光の反射によって瑠璃色に輝くさまから名付けられたとのことです。

当日は春半ばというのにちようど混浴の露天風呂に入浴中に雪が天空より舞い落ち、風情は湯煙と重なり何とも気持ちの良いものでした。混浴は残念ながら水着着用で、期待はずれでした。

食った、食った、カニ三昧。今まで食ったと思っていたのはワニ？ガニ？とにかく生まれて初めて食ったような気がしたカニ三昧料理。

これが本物、本当のカニというものか？ゆでガニ刺身、焼きガニ、カニのしゃぶしゃぶ、白菜のしゃぶしゃぶ、一握りカニのほぐし身を入れたカニ雑炊。カニの甲羅酒。黙って食ってベラベラしゃべって。腹一杯食って、飲んで。どうだ参ったか！悔しいか！

(樋口 文彦)

温泉が良かった、カニが美味しかった、庭がきれいになった。

(岡 道信)



東日本大震災から一年 一同彼の地に向かい黙祷



るり溪温泉で混浴？



夜はおいしい
カニのフルコース

おいしいお酒、おいしい食事、適度なワーク。久しぶりに楽しい二日を送る。

(西川 朋生)



食った、食った、カニ三昧。今まで食ったと思っていたのはワニ？ガニ？とにかく生まれて初めて食ったような気がしたカニ三昧料理。

これが本物、本当のカニというものか？ゆでガニ刺身、焼きガニ、カニのしゃぶしゃぶ、白菜のしゃぶしゃぶ、一握りカニのほぐし身を入れたカニ雑炊。カニの甲羅酒。黙って食ってベラベラしゃべって。腹一杯食って、飲んで。どうだ参ったか！悔しいか！

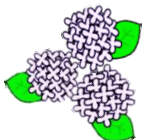
(樋口 文彦)



温泉が良かった、カニが美味しかった、庭がきれいになった。

(岡 道信)





私の思い・・・

畑 俊治

私は、ふくてっくで主に高齢者、障がい者の住宅改修をメインに活動しております。

我が国において、2015年には4人に一人、2030年には、3人に一人が65歳以上の高齢者に、また高齢者のうち、75歳以上の後期高齢者が2018年には半分以上になると言われています。超高齢化がものすごい速度で、進行しています。今後は介護保険負担額が跳ね上がり、自己負担率がアップし、サービス内容は年々乏しくなるでしょう。

介護崩壊、介護難民、介護地獄、認知介護（認知症の親を認知症の娘、息子が介護）、末は介護放棄、介護ストレスによる殺人、孤独死・・・がますます増加し、大きな社会問題になるのは間違いないと思われま

そのような悲劇を少しでも減らすために、私は提案いたします。「街（例えば、自治会単位）全体を、一つの“特養”に！今の住まいを“居室”に見立て、“住宅”に“入所”している高齢者等が24時間、安心して暮らしていける住環境を創る」そのためには、まず住宅のバリアフリー化、そして街区の中に24時間対応可能な中核ケアセンターの設立が必要です。緊急ボタンを押せば、ケアセンターから介護スタッフが駆けつけます。各戸の水道メーターの信号をケアセンターに集約すれば、安否確認が行なえます。現在の地域包括支援センターを充実させるのもひとつの方法かと思

特養を一軒建てるためには、建設費だけでも、入所者一人当たり1000万円から1500万円かかります。経済不況、行政財政難において、今後、特養の建設はかなり困難かと思われる。現在、大阪市内でのある特養では、一施設当たりの待機人数が300～400人という状態です。一軒の特養で平均年間、3名の空きが出たとしても、現在の待機者だけでも全員が入居するのに、100年以上もかかるということになります。しかし、高価な有料老人ホームに入居できるのは、限られた富裕層だけです。

霞ヶ関官僚や行政には期待出来ません！我々NPOや地域社会自体が、早急に取り組まなければならないと考えます。とにかく、一軒でも多くの「住宅のバリアフリー化」が急がれます。

私.. そうなんす。いろいろシビアですよ。

客.. そうか、法令違反になるのか。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

会員コラム



台湾からの里山研修生

西川 朋生

私は「ふくてっく」の活動とは別にもう一つ「生駒いいもり里山サポーターズ」での里山活動しております里山活動がなんであるかを申し上げると長くなりますのでここでは省きますが、久しぶりに今回2012年2月1日～11日の11日間、海外から里山研修生を迎えました。メンバーは台湾から22名、中国から2名そしてPCで情報を知り参加してきた日本人が5名の29名です。

女性が25名男性5名で、年齢は15歳高校生から38歳の台湾大学教師までの幅広い層の集まりとなりました。なかには看護婦やソーシャルワーカーもいましたが大部分は大学生です。これらを実施するのに一番のポイントは宿泊場所です。今回は四條畷神社の梅園が20年以上放置されていたのを私ども里山グループが再生すると交換条件で、神社会館（鉄筋2階建て）をお借りし宿泊場所にさせていただき実施が可能になりました。



里山作業（笹刈り、樹木の倒木、登山道、階段の整備）は勿論、神社境内の清掃、日本文化（着付け、日本舞踊、日本茶会）の研修など。

11日間を朝から晩まで思い切り楽しみ日本の良い思い出を持ち帰っていただきました。

「ふくてっく」の活動の様子

秋岡 安

認定



私.. 認定NPO法人の要件は「①PSTを満たしている②公益的活動費が事業費の50%未満である③運営組織・経理が適切である④事業活動が適正である⑤情報公開が適切である⑥事業報告書等を提出している⑦法令違反・不正行為等がない⑧二事業年度が経過している」の八つです。この内①の要件は満たしていないが、他の七つの要件を満たしておれば仮認定を与える制度のことです。

客.. どこに申請するの？

私.. 本認定・仮認定とも各都道府県又は政令指定都市です。大阪市内の法人なら大阪市です。

客.. 事前の相談が必要ですか。私も今年一月ある法人の認定申請の手伝いをしました。事前相談に行きましたが結果はアウトでした。事業報告書の提出を三ヶ月以内にしていなかったんです。その時、窓口だった国税局の方から「土俵にも乗れませんね。二年後頑張ってください」といわれショックを受けました。一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

客.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

私.. 一日でも遅れたらダメだったんです。

■ H24年2月以降 学習会

2月「言語聴覚士とは
～その仕事と対象者について～」
講師：木原 美喜雄氏
医療法人さくら会 言語聴覚士

3月「平等院鳳凰堂のCGによる復元
～極楽浄土の美再現～」
講師：樋口 文彦
ふくてっく会員

4月「聞く力と補聴器
～その役割と歴史について～」
講師：下門 和彦氏
ワイデックス株式会社大阪営業所 所長

5月「知的障がい者入所施設・通所施設
福祉サービス第三者評価調査報告」
講師：中北 清
ふくてっく こむねつと事業部会幹事

6月「高次脳機能障がいを生きる」
講師：堀ノ上 薫・松永 裕介
杉谷 勉
トライサングル ジョブコーチ

■ H24年度 定例会・学習会予定

7月7日(土) 13:30～17:00頃
会場：大阪市立社会福祉センター
学習会：「(仮)住宅改修と連携」
講師：ふくてっく東大阪部会

8月4日(土) 13:30～17:00頃
会場：大阪市立社会福祉センター(予定)
総会
学習会：「(仮)87年の自分史と社会背景」
講師：有馬 定夫 ふくてっく会員

ことば・コトバ

【 受援力 】

ボランティアを地域で受け入れる環境・知恵などのことを「受援力」(支援を受ける力)と言います。地域外のボランティアの力をうまく引き出すことは、被災地の復興を早めるなど、地域防災力を高めることにつながります。被災地の外から集まるボランティアの人たちは被災地の土地勘はもちろん、被災地が求めているものが何かもわからないものです。被災地側から、どのような状況なのか積極的に伝えることが地域の「受援力」を高める一歩です。

和泉 秀子

◆ 外部連携 ◆

『ななどこ庵』
・地域サロン機能の強化を目指し助成金申請をしました。申請は瀬川氏ですが、協力者として当会も名前を連ねています。

『エフ・エー』
・四月十四日に新しい拠点「よってこサロン」が開所しました。開所式には有馬・杉浦・中北の三名が出席しました。

『NPOセンター』
・三月二十一日NPOセンターの総会に出席しました。

『あいちゃん会議』『熟年連帯会議』『宅労連ミーティング』等に参加しました。

『有償ボランティア団体連絡会』
・月一回開催される定例会に出席しています。
・有ボ連では、二月二十五日(土)十時より十二時五十分(天王寺)にてシンポジウムを開催。
・大震災に学ぶ地域の絆「日常が非日常に変わる時」をテーマにシンポジストとして仙台から「NPOゆうあんどあい」、西宮の「NPO日本災害ボランティアネットワーク」を招き、被災後人がどう動いたかを知り、大阪で災害が起こった時、我々に何ができるか、これからの心構えを考えるきっかけとなった。

…事務局より…

- ★ 総会・理事会 開催状況
平成二十三年
十二月三日(土) 臨時総会
・定款変更について
平成二十四年
三月三日(土) 理事会
・二十三年度上半期の総括
- ★ 定款変更に伴う
法人登録が完了しました。
- ★ 昨年十一月に死去された
元正会員の大室尊昭氏夫人より、
五万円の寄付をいただきました。
- ★ 平成二十四年度学習会テーマ
について、正会員対象にアンケート調査を実施しました。

NPO 法人ふくてっくとは・・・

ふくてっくには、建築・医療・福祉分野の有資格その他、多岐に亘る専門職が参加しており、お互いの専門領域における見識と誇りを大切にしつつ、相互の研鑽しあう機会を育てています。キーワードは「生活者の視点、当たり前感覚です。」是非あなたも仲間に入って、自らの人生を耕しませんか。一度、定例会(原則：毎月第1土曜日、13:30～)にご参加ください。定例会では、会員の活動報告や講師を招いての学習会等を行っています。正会員以外の方が定例会に参加される場合は、参加費500円です。

*会費：入会金/無料

：年会費/正会員 10,000円、学生会員 3,000円、通信会員 500円

*連絡先：TEL 06-6614-6800

ホームページ <http://fukutech.sakura.ne.jp/>

メールアドレス mail@fukutech.sakura.ne.jp

